

救急車の利用について(高齢福祉施設)

119番通報要領(一般的な聞き取り内容)



はい、消防です。
火事ですか？救急ですか？

救急です



どうされましたか？

急病(ケガ)です。



住所(場所)はどちらですか？

〇町〇番地の〇〇苑です。



今の状況を教えてください。

〇〇歳の男性が胸の痛みを
訴えて倒れました。



意識はありますか？

あります。

胸を押さえて苦しんでいます。



あなたのお名前と電話番号
を教えてください。

〇〇 〇〇です。

電話番号は、625-〇〇〇〇です。

救急車が向かいますので、サイレンが
聞こえたら案内をお願いします。

※ その他、詳しい状況、既往症、かかりつけ医などを聞くことがあります。

到着した救急隊員へ以下の内容をお伝え下さい。

① 患者の情報について

住所、氏名、性別、生年月日、年齢、既往症、かかりつけ医、服薬、アレルギー

※ サマリー等のコピーも有効なものとなります。裏面のQ3も参照下さい。

② 患者の容態について

例：具合が悪くなった時の状況(いつから、どのようにして、どうなった)

救急隊が到着するまでの容態の変化

③ 実施した応急手当の内容について

例：〇時〇分にAEDにて電気ショックを実施等

④ 搬送先医療機関について

協力病院、かかりつけ医など、受入れが決まっている際は確実に伝え下さい。

救急車要請のポイントについて（よくある質問）

Q 1 : 医師や看護師が不在のため、119番通報の判断が難しい場合は？

A 1 : 総務省消防庁が提供している救急受診アプリケーション「Q助」で、症状の緊急度が素早く判定でき、救急車を要請する判断の目安とすることができます。また、「とちぎ救急医療電話相談」にて看護師のアドバイスを受けることができます。

※ 関連サイト <https://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/kurashi/anshin/shobo/119/1003318.html>



Q 2 : 応急手当を学ぶ機会がありますか？

A 2 : 宇都宮市消防局では、毎月第2日曜日に応急手当講習会を実施しているほか、事業所単位で消防職員が出向し指導も行っております。

※ 関連サイト <https://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/kurashi/anshin/shobo/1021323/koshu/1029702/index.html>



Q 3 : 救急要請に備え、事前に準備しておくことはありますか？

A 3 : 「救急連絡カード(例)」を参考にして、患者情報をまとめておく効果的です。

※ 宇都宮市ホームページからダウンロードできます。

<https://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/kurashi/anshin/shobo/119/1030020.html>



救急連絡カード（例） （あらかじめ記入し、保管をお願いします。）

ご本人	ふりがな (姓)	(名)	性別	生年月日
	お名前		男・女	〒 S 年 月 日
ご家族等	住 所			
	ADL	<input type="checkbox"/> 完全自立 <input type="checkbox"/> 補助具（杖・手すり等）利用で自立 <input type="checkbox"/> 要部分介助 <input type="checkbox"/> 要全介助		
	介護認定	アレルギー		
	主な既往歴	病名 (高血圧症など)	治療医療機関名	診療時期 (H25～現在など)
				治療中・完治
				治療中・完治
				治療中・完治
				治療中・完治
備考	お 名 前	続 柄	電 話 番 号	連絡状況
			()	済・未・不通
			()	済・未・不通
			()	済・未・不通
			()	済・未・不通

問い合わせ先：警防課救急グループ 電話028-625-3008
u35030001@city.utsunomiya.tochigi.jp